

KINJO MIND

KIND

Kinjo University 2014.03 No.18

在学生ピックアップ

後援会活動報告

- 平成25年度後援会 地域別説明会・個別相談会
- 平成25年度 会計決算見込み

大学行事

- 卒業研究発表会
- 電飾イルミネーション『金城Hot Spot』～HAPPY RING～点灯式
- 学生との意見交換会
- 平成25年度卒業証書・学位記授与式

トピックス

- 第8回保健・医療・福祉創造フォーラム開催報告
- 金城大学・金城大学後援会 共催事業 講演会開催報告
- FD研修会開催報告
- 看護学部、大学院開設予定(平成27年4月)

教育・研究活動報告

- 研究活動成果報告会開催報告
- 科学研究費助成事業採択状況
- 「戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)」状況報告
- 私立大学等教育研究活性化設備整備事業採択

クラブ・同好会活動報告

平成25年度卒業パーティー

平成26年度大学行事案内

金城学園の建学の精神・金城大学の設立の理念など

在学生ピックアップ

卓球と勉学で得た自信を胸に、日本と中国の友好の架け橋となる。

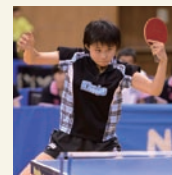
社会福祉学部 社会学科4年

麻赫男
女子卓球部

大学生活はとても実りが多い4年間でし
た。卓球部では、先輩方や監督から多くのア
ドバイスをいただき、困難に挫けず、辛抱強い
性格に成長できたように感じます。部活動の
成績も幾度の地方大会優勝や、全国大会で上
位に進出できたことは、皆様のご指導があつて
こそだと実感しています。



した。入学して間もない頃、まだ日本語が未熟で、勉学やコミュニケーションにおいて悔しい経験をしました。しかし、ゼミの同級生の仲間からも日本語を教わり、自分の意思を伝えることができるようになると、友達をたくさん作ることもできました。さまざまな人々との絆の大切さを深く理解できたことが一番の学びであったように感じます。



卒業後は、卓球の指導者となります。私の夢は、卓球を通じて日本人と切磋琢磨して、日本と中国がお互い仲よく交流ができるような架け橋になれるように、努力していきたいです。最後に、大学生活で関わることができた全ての方々に感謝し、その思いを忘れることなく今後社会人として頑張ります。

積極的なあいさつや会話を意識して、信頼される理学療法士をめざします。

医療健康学部 理学療法学科2年

北川 鉄平
硬式野球部

硬式野球部に所属していた高校時代、腰のけがで理学療法士の方にお世話になりました。復帰まで親身になっていただき、私もこの道を志すようになりました。



この2年間で、医学的な基礎知識などを学んだほか、3回の学外実習にも参加しました。そこでは、治療法や検査法などの技術はもちろん、日々の会話や観察などを通して、患者さんと信頼関係を築くことの重要性を教えることができました。

大学でも硬式野球を続けています。昨シーズンは効率の良い投球動作を意識した結果、北陸大学野球連盟のオールスター選抜の投手に選ばれました。ここでは、技術以外にも積極的に挨拶することや、常に先頭に立つ意識が欠けていることを思い知らされました。



理想の理学療法士に近づくために、すべきことは沢山あります。学業もそうですが、日々の挨拶や会話なども意識しなければなりません。3年生では長期の臨床評価実習に出るので、多くの経験を積み、成長したいです。これからも大学で多くを学び、将来は知識と人間性を兼ね備え、患者さんからも信頼される理学療法士をめざします。

仲間がいるから今がある。いつかはチームを支えたいです。

医療健康学部 理学療法学科2年

齋藤 慶佳
女子バレーボール部



私は部活動で仲間の大切さを学べたと感じています。大学でもバレーボール部に所属して、これまで10年間、バレーボールを続けてきましたが、思い通りに行かず、悩む時期もたくさんありました。そんな時に助言をくれて、一緒に練習してくれた仲間がいたからこそ、たとえ苦しくても、乗り越えることができたのだと思います。日々の練習で仲間と競い合い、技術だけではなく、精神的にも強くなりました。同じ目

周囲への感謝の気持ちを忘れず、部活も学業も全力で取り組みます。

社会福祉学部 社会学科2年

齋藤 慶奈
女子バレーボール部

標を見据えて切磋琢磨し、苦しい時には支え合うことができる仲間がいることに、とても感謝しています。これからは上級生として、チームを支えられる存在になれるように頑張ります。

将来の夢は理学療法士になり、多くの患者さんの治療に関わることです。就職してからは、今以上に辛いことや大変なことが多くなると思いますが、つひとつ乗り越えて、いつかは誰からも信頼されるようなプロフェッショナルになることができたいと思います。これから、ますます勉強は大変になると思いますが、夢の実現のために、残りの大学生活を大切にしながら、部活と両立させて日々成長していきます。



双子で同じ部活に所属する姉の齋藤慶佳(写真左)と妹の慶奈(同右)



部活動を通して、感謝する気持ちの大切さを学ぶことができました。大学ではバレーボール部に所属して、毎日部活に打ち込めるのも周りの存在があるからこそ。これを当たり前と思うことなく、「ありがとう」の気持ちを忘れずに励んでいます。毎日来てくださるコーチの方々や、サポートしてくださる先生、話を聞いてくれる同年生の仲間や、勝つために一緒に汗を流す先輩や後輩、たくさんの方々の支えがあること、恵まれ

た環境で活動ができ、本当に幸せです。また、大学に通うことができるのも両親のおかげです。部活動同様、日々、感謝の気持ちを忘れずに大学生活を過ごしたいと思います。

将来は、介護福祉士など福祉関係の仕事に就くことを考えています。障がい者や高齢者ら、さまざまな人の役に立ちたいです。これからも、たくさんの方々と関わる機会が増えると思います。常に感謝の気持ちを忘れず、一日一日を大切に過ごしたいと思います。

勉強と部活動の両立は大変ですが、どちらも中途半端にせず、創意工夫をしながら、取り組みます。部活動では新入生が入ってくるので、上級生として責任を持ち、チームに貢献したいと思います。



後援会活動報告

平成25年度 後援会 地域別説明会・個別相談会

平成25年12月14日(土)13時より、今年度も能登会場・福井会場・富山会場の全3会場にて、地域別説明会・個別相談会を実施しました。

能登会場は「ホテルウエルネス能登路」にて13人、福井会場は「福井パレスホテル」にて20人、富山会場は「ゴルフアートとやま」にて40人、合計73人の保護者の方にご参加いただき、各会場とも、修学や学生生活、就職や各種資格に関する数多くのご質問・ご意見をいただきました。



平成25年度 会計決算見込み

平成25年度 決算見込み 収入の部 (単位:円)	
会費	15,270,000
利息	1,322
雑収入	0
前年度繰越金	2,755,719
合計	18,027,041

平成25年度 決算見込み 支出の部 (単位:円)	
学生活動支援費	5,000,990
就職・教育活動支援費	4,580,520
会員研修費	300,000
研究活動支援費	731,850
会議費	636,750
通信費	427,484
慶弔費	190,000
事務費負担金	500,000
広報費	896,000
雑費	128,331
卒業記念品代	997,605
予備費	0
特別会計繰入金	1,000,000
合計	15,389,530

次年度繰越金	2,637,511
--------	-----------

後援会による主な教育・研究支援について

学生活動支援費

社会福祉学部棟、医療健康学部棟の講義室等に、計12個の壁掛け時計を購入しました。

就職・教育活動支援費

年間を通じて、就職支援関係(専門職・一般企業及び接遇関係を含む)、国家試験支援関係、各種資格取得支援関係の対策講座を実施しており、例年、その経費の一部を補助しています。

研究活動支援費

4年生から提出された卒業論文・事例研究の要旨集を、平成26年1月に印刷・発行し、全学生に配付しました。

広報費

年2回、会報誌「KIND」を発行し、会員の皆様へ後援会の活動報告や学生生活の現況、大学の最新情報等をご提供しています。また、ホームページも随時更新し、後援会事業内容等の報告を行っています。

卒業記念品代

卒業記念品として、ボールペン(パーカー)を購入し、卒業生(255人(前期卒業生2人を含む))に贈呈しました。

※その他、各費目の詳細につきましては、平成26年度後援会総会(平成26年6月14日(土)開催予定)資料にてご報告させていただきます。

大学の教育・研究活動報告

大学行事

卒業研究発表会

医療健康学部…平成25年10月5日
社会福祉学部…平成25年12月～26年2月

医療健康学部は、10月5日(土)に、学部全体で卒業研究発表会が行われ、社会福祉学部は、12月～2月にかけて各ゼミで卒業研究発表会が行われました。4年生にとっては、大学生活の集大成の発表会であり、様々な研究内容が報告されました。また、多くの質疑応答もあり、大変充実した研究発表会となりました。



電飾イルミネーション『金城HotSpot』 『HAPPY RING』点灯式

平成25年12月9日



正面エントランスサークルに兼六園をイメージした雪吊りのイルミネーションが施され、12月9日(月)に点灯式が行われました。6回目となる今回は、学友会からの提案で、「HAPPY RING」がテーマに決定し、実施されました。式では本学学生によるハンドベル演奏、金城大学附属西南幼稚園の園児によるクリスマスソングが披露され、賑やかな雰囲気の中で、サンタクロースとトナカイが現れ、園児と参加者に一足早いクリスマスプレゼントが手渡されました。イルミネーションは、平成26年2月20日(木)まで点灯されました。

学生との意見交換会

平成25年12月12日・19日

例年実施している学生との意見交換会は、学部別に、12月12日(木)に社会福祉学部、19日(木)に医療健康学部で行われ

れました。両学部の1年生から4年生の学生と教職員が食堂や各施設、授業運営など多岐にわたる約2時間、意見を交えました。大学及び後援会では、学生の意見を参考にして、よりよい教育環境の整備に努めていく予定です。

平成25年度卒業証書・学位記授与式

平成26年3月18日

平成26年3月18日(火)に第11回卒業証書・学位記授与式が白山市松任文化会館にて挙行されました。社会福祉学部の卒業生176人、医療健康学部の卒業生77人が学び舎を後にし、社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。

式では、加藤真一理事長が告辞を述べ、奈良勲学長が「大学での学びを基礎に、勉強を重ねて信頼される専門職となつてほしい」と式辞を述べました。続いて、祝辞が披露され、最後に、卒業生を代表して、高田彩香さんが答辞を述べました。



同日、会場を金沢エクセルホテル東急に移し、卒業パーティーが盛大に行われました。次年度の卒業式は、平成27年3月18日(水)に行われる予定です。

※卒業パーティーの様子は裏面参照

トピックス

第8回保健・医療・福祉創造フォーラム開催報告

11月30日(土)に、第8回保健・医療・福祉創造フォーラム、北國新聞社共催が本学にて開催され、保健・医療・福祉の施設職員、一般学生などが参加しました。大会テーマを「よりよいパートナーシップの実現を目指して」とし、澤俊二氏(藤田保健衛生大学・医療科



学部リハビリテーション学科長作

業療法専攻・教授による講演「1917年、近代作業療法が始まった！～作業の力・作業療法の魅力～」が行われました。講演後には、こども介護福祉社会福祉、医療健康の2分科会が開かれ、各領域の専門家を招き、各分野における具体的な取り組みやそれぞれの立場における現状や展望などを提示し、情報・意見交換の場となりました。

金城大学・金城大学後援会 共催事業 EIZO株式会社 実盛祥隆社長(金城大学後援会会長)講演会開催報告

EIZO株式会社 実盛祥隆社長(金城大学後援会会長)による講演会「未来と自分を変えられる！～新社会人となるにあたって～」は12月17日(火)、本学社会福祉学部棟大講義室で開かれました。講演では、実盛祥隆社長が「変わる」「異なる」「違う」をキーワードに、異文化における考え方や価値観の違い、会社(組織)への対応能力とコミュニケーション能力の重要性、英語力の必要性、IQ(知能指数)とEQ(心の知能指数)の違いと、社会の各場面における順応性などについて説明しました。



奈良勲学長兼医療健康学部長が冒頭に挨拶し、最後に加納宏志社会福祉学部長が感謝の言葉を述べました。卒業を控え、これから社会に出る4年生からは「大変参考になった」などの感想が数多くあがりました。金城大学並びに金城大学後援会では、今後も在学生に有益な講演会などを開催できるよう努めていきます。

FD研修会開催報告

金城大学では、積極的にFD(Faculty Development)研修会を実施しており、第1回(4月30日(火))は、杉森公一氏(金沢大学 大学教育開発・支援センター)准教授を講師に招き、「いま大学教育に求められること(2)～カリキュラムツリー、ラーニングアウトカムズ、



「ルーブリック」が行われました。第2回(7月30日(火))は、河野光伸教授(医療健康学部作業療法学科)による「学生の臨床能力評価(OSCE実施法)」が行われました。第3回(3月3日(月))は、加藤真一理事長による「金城学園の現在・過去・未来」が行われました。



看護学部、大学院開設予定(平成27年4月)



平成27年4月に開設を予定(設置構想中)している看護学部看護学科(仮称)の新校舎起工式を、平成26年2月24日(月)に建設予定地の公立松任石川中央病院(白山市倉光)敷地内で執り行いました。起工式には、本学園の加藤真一理事長や作野広昭白山市長、栗貴章野々市市長、前哲雄川北町長、白山石川医療企業団の久保田幸次企業長など関係者約70人が出席し、工事の安全を祈願しました。

また、理学療法学及び作業療法学の高度な先端的知識・技術を備えた人材を育成するため、平成27年4月には、大学院(リハビリテーション学研究科(仮称))の開設も予定(設置構想中)しています。

教育・研究活動報告

研究活動成果報告会開催報告

学内競争的資金として交付される特別研究費(国外研究費)に採択された研究活動について、10月26日(土)・27日(日)に研究活動成果報告会が実施されました。

【特別研究費】

① 小島聖講師(医療健康学部)

「足関節の底屈角度の違いが歩行時の足圧分布に及ぼす影響」
② 金城智代助教(社会福祉学部)
 「ひとり親家庭の多い沖縄県における『気になる子』を担当する保育者の意識調査(ひとり親家族の少ない石川県と比較して)」

③ 森啓至教授(医療健康学部)
 「中枢神経系の炎症状態が嗅覚機能へ与える影響についての基礎的検討」

④ 佐藤香緒里准教授(医療健康学部)
 「つまずきが発生する時の障害物との距離・位置関係に関する研究」

⑤ 木林勉教授(医療健康学部)
 「入学者選抜方法による学業意識と成績について」

⑥ 越納美和助手(社会福祉学部)
 「金沢市における『買い物難民』支援の現状と課題(支援者の聴き取り調査より)」

⑦ 神谷晃央講師(医療健康学部)
 「人工股関節置換術前後の骨盤側方傾斜と股関節可動域および筋力の経時的特性」

【国外研究費】
⑧ 川邊弘之教授(社会福祉学部)
 「第53回サニバルシンポジウムでのポスター発表」



科学研究費助成事業採択状況

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、独創的・先駆的な研究に対する助成制度です。平成25年度の採択・交付者は次の通りです。

【大学】

① 永原朗子教授(社会福祉学部)
 「批判的リテラシーを育む福祉科教育における問題解決学習プログラムの開発」

② 田中克恵准教授(社会福祉学部)
 「特別養護老人ホーム入所者の終末期を支えるチームケアに関する研究」

③ 元村智明准教授(社会福祉学部)
 「大阪『博愛社』の研究(125年の歴史的検証)」

④ 小島聖講師(医療健康学部)
 「理学療法学的治療が関節拘縮の進行予防と回復に及ぼす病理組織学的影響」

【短大部】
⑤ 新井浩准教授(美術学科)
 「大学教員の教授力向上のための自己訓練システム」

「戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)」状況報告

下村有子教授(社会福祉学部)の研究『視野障害者自立支援のための社会実装』が、独立行政法人科学技術振興機構(JST)の「戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)」実装支援プロジェクトに採択され、現在も継続して、研究開発が進められています。(研究開発期間：平成23年10月から平成26年9月までの3年間)



私立大学等教育研究活性化設備整備事業採択



平成24年度に引き続き、2年連続で今年度も、私立大学等教育研究活性化設備事業に採択され、その事業費でアクティブラーニング教室での授業及びクリッカー、ホワイトボードを用いた授業など多彩な授業を行っています。

クラブ・同好会 活動報告

学生活動支援費から援助金を支給しているクラブ・同好会の活動報告については、以下の通りです。

女子卓球部

活動内容 全員共同生活でチーム力の向上も図りながら、全日本大学総合卓球選手権大会、全日本選手権、各種大会の入賞を目指して日々練習に励んでいます。



活動報告 (T: 団体 W: ダブルス S: シングルス) 百万石オープン卓球大会(S: ベスト8)、全日本大学総合卓球選手権大会(T: ベスト8)、中部日本卓球選手権大会(S: 3位)、春季北信越学生卓球選手権大会(T: 優勝 W: 準優勝 S: 優勝)、夏季北信越卓球選手権大会(T: 優勝 W: 優勝 S: 優勝)、秋季北信越学生卓球選手権大会(T: 準優勝 W: 優勝 S: 優勝)、全日本学生選抜卓球選手権大会(S: 準優勝)

女子バレーボール部

活動内容 部員数: 17人(大学4年1人、3年3人、2年5人、1年6人、短大2年2人) 代表者: 山川望弥 抱負: 私たちは「全員バレー」をモットーにチーム丸となり、切磋琢磨しながら日々練習に励み、全国上位を目指して頑張りたいと思います。

活動報告 北陸三県学生春季リーグ戦優勝(8季連続17回目)、春季北信越大学選手権大会準優勝、石川県バレーボール祭優勝(7年連続7回目)、北陸三県学生秋季リーグ戦優勝(9季連続18回目)、秋季北信越大学選手権大会3位、石川県6人制総合男女選手権大会優勝(2年ぶり4回目)、全国6人制総合男女優勝大会北信越リーグ優勝(2年ぶり3回目)、天皇杯皇后杯全日本選手権大会北信越ブロックラウンド準優勝、愛知県大学オープン大会ベスト8、全日本大学選手権大会決勝トーナメント2回戦進出



男女バスケットボール部

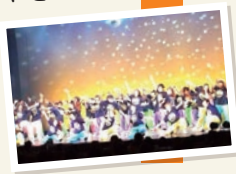
活動内容 男女とも目標は北信越で上部昇格すること。週3回基礎から試合までさまざまな練習をしています。試合経験を積むために、他の大学や社会人チームとも練習試合を行い、県内の大会に出場し技術力向上に努めています。



活動報告 「男子」笹本杯 5月3日(新潟大学に83:103で負け)、新潟国際に54:113で負け、福井大学に75:96で負け)、学生選手権 5月19日(医科大に88:45で勝ち)、インカレ予選 10月17日(石川県立に82:67で勝ち、新潟経営に46:132で負け)、「女子」笹本杯 5月3日(富医薬に54:79で負け)、星稜に50:68で負け、金沢工業大学に76:93で負け)、学生選手権 5月19日(星稜に56:66で負け)、白山市民体育大会 6月9日(鶴来に59:28で勝ち、レクサスに49:41で勝ち、笠間に64:39で勝ち優勝)、石川県会長杯 7月7日(Te: Kanazawa)に56:67で負け)、インカレ予選 10月17日(松本大学に73:51で勝ち、星稜に39:53で負け)

ダンス部

活動内容 私たちは毎週月曜日、金曜日に短大リズム室で練習しています。土日は福祉施設や地域のお祭りなど様々なイベントに参加しています。また、ダンスだけではなく、部員一人ひとり仲が良く、ダンス以外にもボーリング大会やBBQ、夏合宿といった行事も盛り沢山です。そして、毎年冬には自主公演も行っています。



活動報告 春合宿・新入生歓迎会・石川県大学ダンス連盟の公演・秋合宿・金城祭でのショーケース・自主公演

男子バレーボール部

活動内容 週4回の練習。目標は、北信越1部リーグ優勝であり、インカレでも注目チームとなることである。



目的は、心と体を鍛え、人として魅力ある生き方ができるような部活動を目指している。

活動報告 春季北陸三県大会1部4位、春季北信越大学選手権大会1部6位(ブロック賞)、館宏志郎、ベストスコアラー賞、川田洋輝、中部日本6人制総合選手権大会石川県予選1回戦敗退、天皇杯皇后杯石川県予選大会2回戦敗退、秋季北陸三県大会1部4位、秋季北信越大学選手権大会1部5位(ベストスコアラー賞)、川田洋輝、石川県6人制バレーボール総合選手権大会1回戦敗退、全日本学生バレーボール選手権大会予選敗退、石川県ウインターリーグ 1月~3月開催

硬式野球部

活動内容 北陸大学野球2部リーグを制覇するために、夏休みと春休みについては、毎週火曜、木曜、土曜、日曜、授業期間中は、毎週土日に練習しています。春季リーグ戦、秋季リーグ戦、新人戦、私立大学大会で、一つでも多く勝利を収めるようチーム一丸となって活動しています。



活動報告 平成25年度北陸大学野球春季リーグ戦 3位、北陸大学野球新人戦 1回戦敗退、平成25年度2部北陸大学野球秋季リーグ戦 4位、春季リーグ戦で中川雄太選手が創部してから初めて個人賞の首位打者賞を受賞

キンボール部

活動内容 キンボールは全員で楽しめるスポーツです。「なんだそれ」と思うでしょうが、体験してみると初心者も経験者も男女も関係なく楽しむことができます。大会への参加も多く、みんな一生懸命練習に励んでいます。とても迫力のあるエーススポーツなので、部員全員が楽しみな活動しています。



活動報告 第14回キンボールスポーツジャパンオープン・チャンピオンズカップ、第14回キンボールスポーツジャパン

オープン・フレンドリーカップ、第11回石川オープンキンボールスポーツ大会、第9回キンボールスポーツ日本海カップ2013などに参加。

音楽部

活動内容 バンドを自由に組み、ライブやイベントに出演しています。練習時間は自由です。年に3回の企画ライブや、金城祭に向けて練習しています。

活動報告 今年のライブは、夏、冬、卒業ライブを企画し、それが楽しむことができ、また、金城祭でのライブも成功することができました。その他にも、新入部員のために部室でのライブを企画し、多くの新1年生が入部するきっかけとなりました。部内だけでなく、外部のライブに出演する部員もいました。



マーチングバンド部

活動内容 毎週火・木にリズム室で皆と楽しみながら、練習に励んでおります。部員数は少ないながらも演奏を聴いて下さるお客様に二人でも多く、音楽の良さとおもしろさが伝わるよう皆で工夫を重ねながら曲を仕上げています。

活動報告 秋に開催された「ひびきまつり2013」第24回はぎの郷まつり」に出演し、ミッキーマウスマーチなど演奏、冬に開催される金城大学短期大学主催のミュージックフェスティバルに参加、遊学館高等学校吹奏楽部との合同演奏を披露



Recsportion

活動内容 毎週水曜日の17時頃から笠間軽体育館や日輪体育館などの体育館で活動しています。活動日・活動場所はみんなで話し合い対応しています。バレーボー

ル・バスケットボール・フットサルなどの球技や、缶けり・鬼ごっこといった遊びまでスポーツを楽しくみんなで行えるサークルです。

活動報告 今年は1年生を中心に短大生への参加が目立ちました。前期は週1回のペースで、後期に入ってから週2回くらいのペースで大学近くの体育館で活動。夏にはケイドロなどの外遊びをしました。



STサークル

活動内容 火曜、木曜日に短大側美術棟横のテニスコートにてソフトテニスを行い楽しんでいきます。部室には貸出ラケット、ボールもあり、環境が整っていて初心者から経験者まで幅広い人たちがいます。希望する人は石川県のソフトテニスの地区大会への参加などもしています。皆がそれぞれ楽しくやっています。

活動報告 第22回石川県ソフトテニス中能登町とりや大会参加、第50回円角杯争奪ソフトテニス大会に参加しました。



VORABO

活動内容 主に毎週木曜日の昼休みに活動しています。これまでの災害ボランティアの経験などの活動報告や情報交換などを行っています。また、災害ボランティアだけでなく、今後も幅広いボランティアを行えるように活動しています。

活動報告 9月上旬に岩手県へ行き、地元の方との交流会、がれきの撤去を行ってきました。10月には、赤い羽根共同募金の街頭募金に参加しました。



サッカーサークル

活動内容 活動は不定期で行っており、サッカーの経験は問わず、現在のメンバーの中にも未経験者がたくさんいますが、楽しみながら活動を行っています。去年は参加できませんでした。夏休みなどは県外へ遠征を行い、みんなでサッカーを楽しみたいと思っています。



バドミントン

活動内容 週1回程度、医療健康学部棟1階に集合して、金城大学の近くにある千代野体育館でバドミントンをしていきます。初心者も経験者も大歓迎なので気軽に覗いてみてください!!

活動報告 新入生歓迎会でバドミントンサークル活動の紹介に参加し、夏には、部員が集まりバーベキューをして交流しました。



金城学園つり同好会

活動内容 毎週火曜日を活動日として、釣りの基本とマナーについて学んでいます。休日を利用して、学外でのボランティア活動、釣り実技および講習会などに参加しています。部員数は2年生17人、1年生7人の計24人です。

活動報告 平成25年5月同好会結成、5月26日「クリーンビーチいしかわinはくさん」参加

加「提唱」エフエム石川「後援」環境省中部地方環境事務局、同日「アオリイカ釣り講習会参加、7月13日初心者投げ釣り講習会実施、9月8日CCZにて投げ釣り実釣会開催、10月12日金沢港にて海釣り実釣会開催、11月4日中日スポーツ新聞に同好会紹介記事掲載



平成26年
3月18日

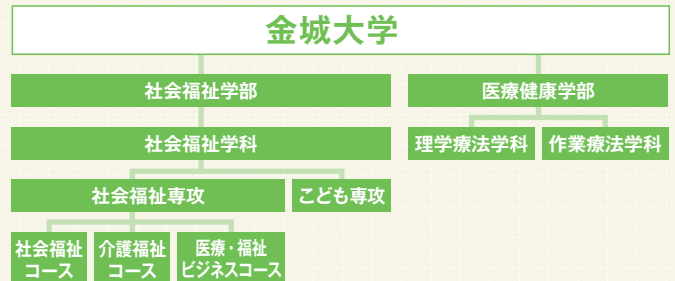
平成25年度 卒業パーティー



平成26年度 大学行事案内

平成26年度 入学式：平成26年 4月 1日(火)
 平成26年度 新入生歓迎会：平成26年 4月 5日(土)
 平成26年度 新入生宿泊研修：平成26年 4月11日(金)～13日(日)
 平成26年度 後援会総会：平成26年 6月14日(土)
 第39回 金城祭：平成26年10月25日(土)・26日(日)
 平成26年度 地域別説明会：平成26年12月13日(土)

金城大学 学部・学科構成 一覧



金城学園の建学の精神・金城大学の設立の理念など

金城学園	建学の精神	遊学の精神の涵養 何ものにもとらわれず、自由に広く世の中を見聞し、人格を高め磨いていくこと。 良妻賢母の育成 家庭における女性の役割の重要性にかんがみ、周りの人々がより良く幸せに生きるために支えとなる人材を育成すること。
	教育理念	創始者：加藤廣吉・せむ 率先垂範、質素勤勉 二代目：加藤二郎 教育とは 云うてきかす事ではない。して見せる事でもない。している事である。 三代目：加藤晃 教育とは先生と学生の全人格のぶつかり合いの中から生まれてくる学生への影響、それも何らかのよい影響である。
金城大学	設立の理念	明日の福祉社会を先導する福祉のリーダー的存在の養成
	目的及び使命	教育基本法・学校教育法の精神に則り、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を養い、文化の向上および社会の福祉に寄与する人材を育成することを目的とする。(学則第1条)

大学案内・募集要項

《入試広報部》
 フリーダイヤル
0120-276-150
 TEL
076-276-5175 (直通)
 FAX
076-275-4316
 E-mail
daigaku@kinjo.ac.jp

KIND

金城大学後援会 会報誌【KIND】第18号 平成26年3月25日発行 編集兼発行：金城大学後援会 事務局
 (学)金城学園理事長 加藤真一・金城大学学長 奈良勲・後援会会長 実盛祥隆 (EIZO株式会社 代表取締役社長)
 石川県白山市笠間町1200 TEL.076-276-4400 FAX 076-275-4316 <URL>http://www.kinjo.ac.jp/ku/ <E-mail>u-koenkai@kinjo.ac.jp